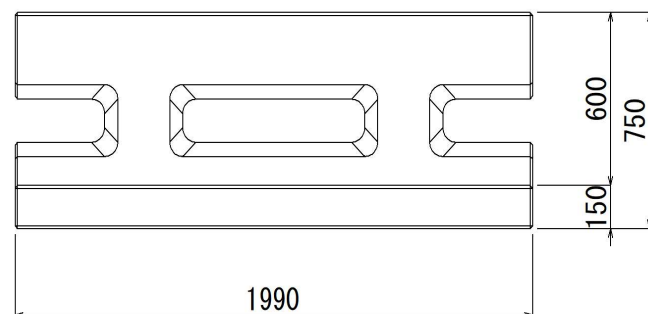


◆ 基礎工詳細図（プレキャスト&現場打ち） ◆

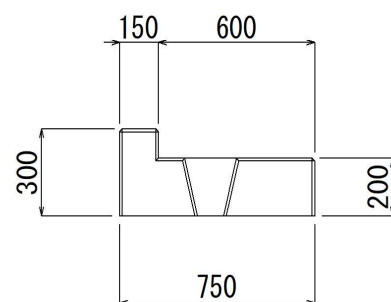
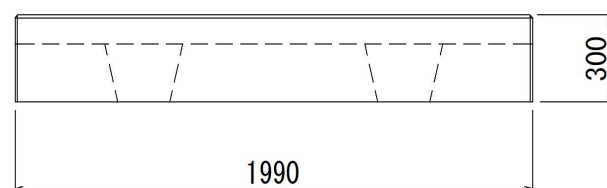
◇基礎ブロック

A形（L=2m用）



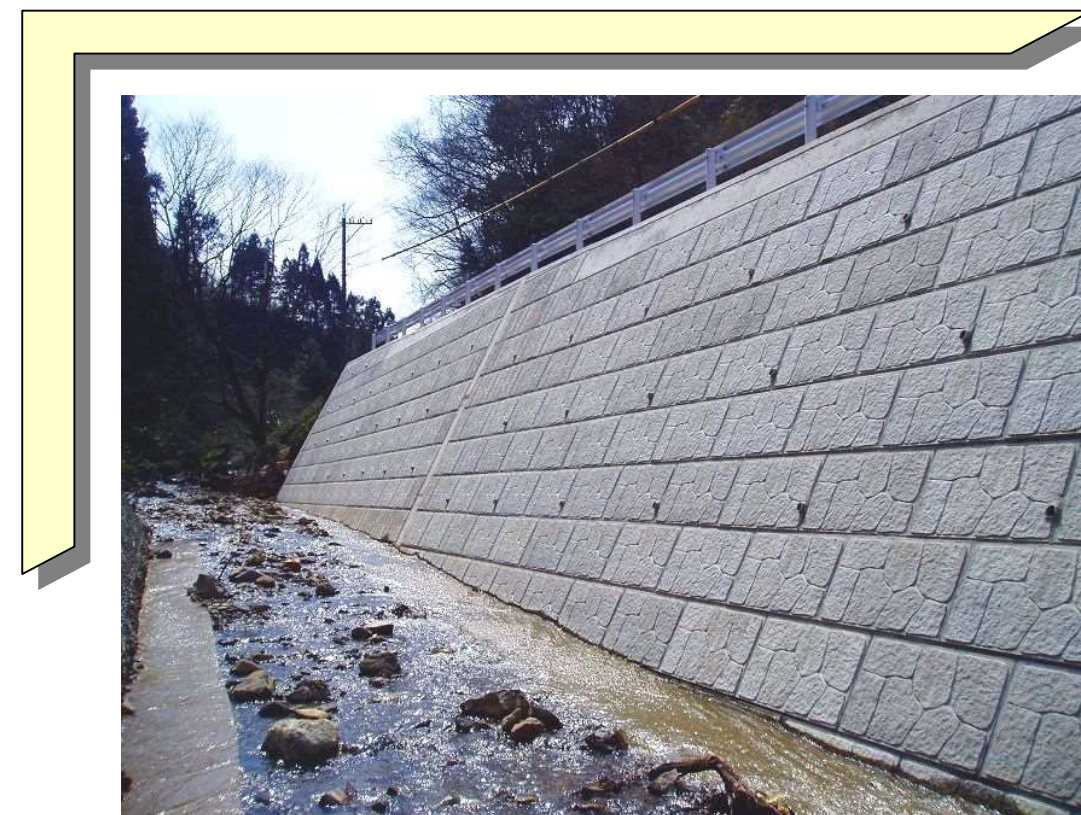
規格諸元

主 要 部 寸 法 (mm)	体 積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	胴込Co量 (m <sup>3</sup> )
1990×300×750	0.2689	618	0.060
(0.030m <sup>3</sup> /m)			



大型練積みブロック

りよく ゆう  
緑遊2 水平積みタイプ



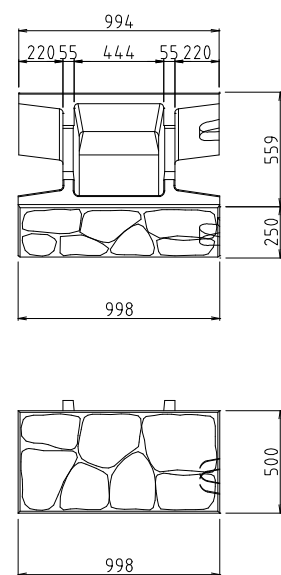
奥能登土木総合事務所  
一般県道上黒丸大谷線 安全・安心道路整備工事  
珠洲市大谷町外山 地内

共和コンクリート工業株式会社

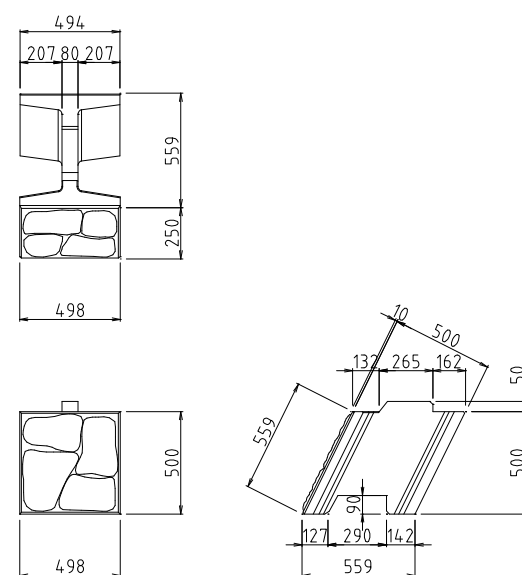
北陸支店 石川営業所

◆ 製品規格寸法図 ◆

A形

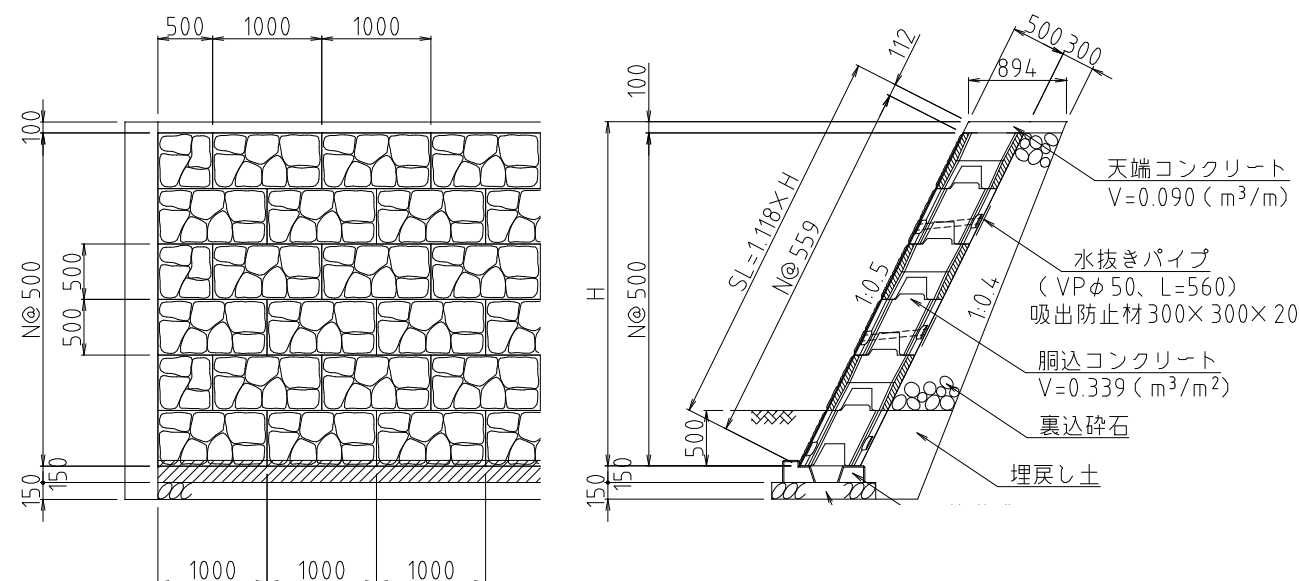


B形



呼び名	主要部寸法(mm) 斜長×幅×控長	体 積 (m <sup>3</sup> /個)	参考質量 (k g /個)	胴込材量 (m <sup>3</sup> /個)	壁体重量 (k g /m <sup>2</sup> )	使用個数 (個/m <sup>2</sup> )
A 形	559×998×500	0.0900	207	0.190	1,152	1.789
B 形	559×498×500	0.0509	117	0.088	—	—

◆ 一般展開図及び断面図 ◆



◆ 曲線部の施工（目地間隔早見表） ◆

ブロック上下施工間隔を曲率半径(R)と施工段数別に求め、これを下表に示します。

R	施 工 段 数									
(m)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	13	25	38	50	63	75	88	100	113	125
30	8	17	25	33	42	50	58	67	75	83
50	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
80	3	6	9	13	16	19	22	25	28	31
100	3	5	7	10	13	15	18	20	23	25

単位：mm

◆ 数量算出式 ◆

施工区間に対するブロック及び胴込コンクリート量の標準所要数量は次式により求めます。

呼び名	施工段数が奇数の場合	施工段数が偶数の場合
A 形	$(SL/0.559) \times (L - 0.5) + 0.5$	$(SL/0.559) \times (L - 0.5)$
B 形	$(SL/0.559) - 1$	$SL/0.559$
胴込コンクリート量	$0.190N_A + 0.088N_B \approx 0.3399 \text{ (m}^3/\text{m}^2\text{)}$	

N<sub>A</sub>：A形のブロック個数    N<sub>B</sub>：B形のブロック個数    S L：ブロック法長(m)    L：ブロック延長(m)

◆ 数量算出例 ◆

施工延長 10m当りの施工段数別の数量表を下表に示します。

区 分	単位	施 工 延 長    10.00m									
施工段数	段	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
施工法長	m	0.559	1.118	1.677	2.236	2.795	3.354	3.913	4.472	5.031	5.590
施工面積	m <sup>2</sup>	5.59	11.18	16.77	22.36	27.95	33.54	39.13	44.72	50.31	55.90
A形個数	個	10	19	29	38	48	57	67	76	86	95
B形個数	個	0	2	2	4	4	6	6	8	8	10
胴込コンクリート	m <sup>3</sup>	1.90	3.79	5.69	7.57	9.47	11.36	13.26	15.14	17.04	18.93